

特集

平成23年度当初予算総額321億円 安心と雇用の確保

■概要

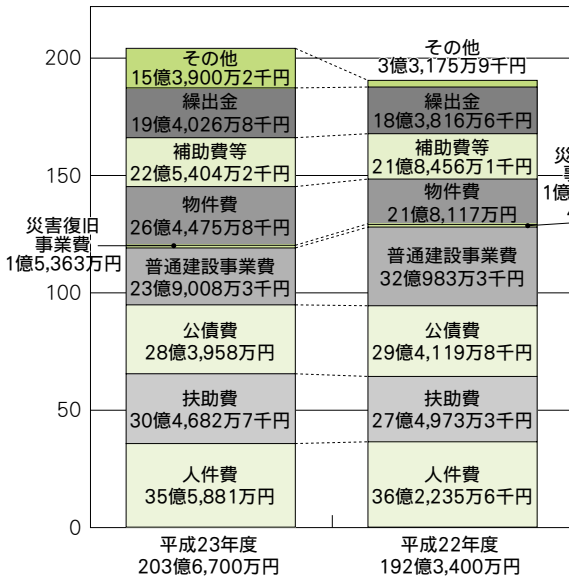
平成23年度当初予算は、市民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりと雇用の確保を最優先に、「安心と雇用の確保予算」と位置づけて編成しました。

景気低迷により市税収入が落ち込む中、医療・雇用対策、産業振興などのソフト事業に限られた財源を優先的に配分。

予算規模は、一般会計で203億6700万円、特別会計(14会計)で105億2285万円、企業会計(2会計)で29億4299万円、各会計間の重複を控除した総額は321億1240万円となります。

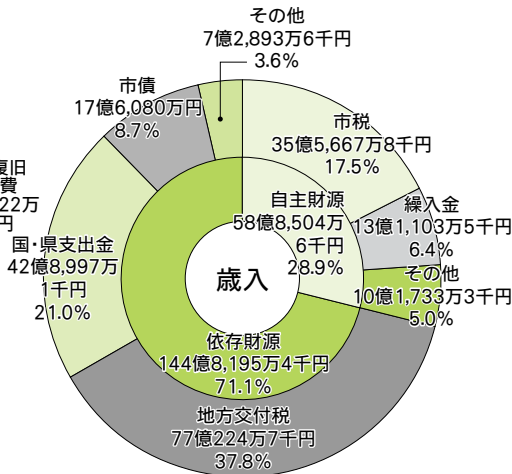
| 区分 | 平成23年度 予算額 | 伸率 (%) |
|----------------|---------------|-----------|
| 一般会計 | 203億6,700万円 | 5.9 |
| 特別会計(14会計) | 105億2,285万円 | 3.7 |
| 国民健康保険事業勘定 | 41億2,842万円 | 0.3 |
| 国民健康保険診療施設勘定 | 4億4,399万円 | 6.9 |
| 奥屋内へき地出張診療所 | 999万円 | 0.7 |
| 後期高齢者医療 | 4億4,127万円 | 1.4 |
| 下水道事業 | 10億7,419万円 | 16.5 |
| と畜場 | 2億6,229万円 | △2.0 |
| 幡多公設地方卸売市場事業 | 2,054万円 | 83.0 |
| 住宅新築資金等貸付事業 | 191万円 | △16.5 |
| 鉄道経営助成基金 | 3億3,293万円 | 56.1 |
| 農業集落排水事業 | 4,708万円 | △20.1 |
| 幡多中央介護認定審査会 | 629万円 | 0.6 |
| 介護保険保険事業勘定 | 32億2,526万円 | 1.4 |
| 園芸作物価格安定事業 | 2,810万円 | 0.0 |
| 簡易水道事業 | 5億59万円 | 4.3 |
| 企業会計(2会計) | 29億4,299万円 | 2.4 |
| 水道事業 | 6億4,737万円 | △2.2 |
| 病院事業 | 22億9,562万円 | 3.8 |
| 合計(各会計間の重複額除く) | 321億1,240万円 | 4.7 |

【一般会計歳出(性質別)】

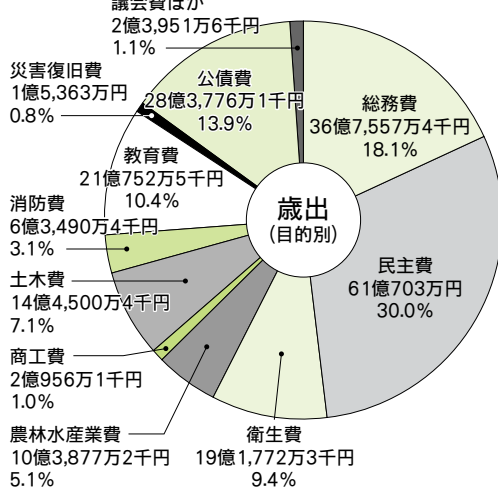


〔解説〕※主な性質別の増減
 普通建設事業費：新庁舎建設
 △10億3,256万6千円減
 ケーブルテレビ整備
 △5億2,833万8千円減
 扶助費：子ども手当(児童手当減含む)
 1億98万2千円増
 生活保護費
 1億802万4千円増
 その他：減債基金積立金(庁舎建設基金廃止分)
 12億1,435万7千円増

【一般会計歳入】



【一般会計歳出(目的別)】



■一般会計
 一般会計は前年度比5.9%の増となりましたが、庁舎建設基金の残額を一旦繰り入れ、減債基金に積み立てることとしており、これを除くと前年度並です
 平成22年度で庁舎建設などの大型事業が終了する一方、中村小学校改築や川崎小学校増築・大規模改造など普通建設事業の確保にも努めたほか、四万十市産材利用促進事業などの新規事業の予算化や緊急雇用、ふるさと雇用事業の増額などにより前年度並の規模を確保しました。

安心して暮らせる まちづくりを

目指して

次の4項目を本市が目指すべき方向性と定め、予算を効果的に分類しました。項目ごとの主な事業を紹介します。

対話と協調―協働のまちづくり

新地域づくり支援事業【150万6千円】
高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めるため、地域づくり支援職員を配置し、住民と一緒に活動を進めます。

広報公聴事業【810万1千円】

広報や市ホームページの充実を図るほか、新たに市ガイドブックの作成を行います。

ふるさと応援団推進事業【200万円】

昨年8月から開始したふるさと応援団員の募集を引き続き進めるほか、団員との交流会を開催するなど、団員の輪を広げていきます。

地域集落再生事業【109万円】

過疎・高齢化が特に著しい西土佐地域で、集落の維持・活性化を目的に、講演会の開催や集落と若者の交流事業などを行います。

公民館分館育成補助金【140万円】

自分たちの地域づくりに積極的に取り組む分館活動の提案を受け、必要経費に対し補助するものです。

産業振興―活力あるまちづくり

新四十市産材利用促進事業【4500万円】

市内産木材を一定量使用し、地元業者で建築する住宅に対して、最大150万円の補助を行います。
※詳しくはP5に掲載しています。

新ヒノキブランド化推進事業【36万4千円】

四十市川流域の四市町村で、「四十市ヒノキ」のブランド化に向けた取り組みを行います。



四十市ヒノキモデルハウス見学会

新食育広場整備【128万1千5百円】

「いちじよこさん食育広場」に製造・加工施設等を整備し、中心市街地の賑わい創出を図ります。

新岩間交流拠点施設整備【86万9千円】

岩間沈下橋左岸側に、トイレを備えた交流拠点施設を整備し、地域の活性化を図ります。

農工商等連携事業【65万8千4百円】

四十市の新たな特産品の開発と販路拡大、既存商品のレベルアップのほか、新たなサービスの提供を進めます。



ぶしゅかんのドレッシング・ポン酢・かけダレ

緊急雇用創出臨時特別基金事業【38事業 2億280万4千3百円】

短期間の雇用と就業機会を創出します。
※新規の失業者のべ152人雇用予定

ふるさと雇用再生特別基金事業【17事業 2億477万5千円】

継続的な雇用機会を創出します。
※新規の失業者のべ39人雇用予定

保健・医療・福祉―いのちを守り 育むまちづくり

新斎場使用料助成【52万円】

西土佐岩間以北の市民が、広見斎場を利用した場合に幡多中央斎場の利用料との差額の2分の1を助成します。

保健・医療・福祉連携事業【263万5千円】

市民の健康増進、疾病予防、福祉対策などの健康長寿の総合行政と、市民と行政が一体となった健康づくりの推進を図ります。

新口腔ケア事業【278万5千円】

在宅の要介護者を対象に、虫歯や歯周病はもとより、高齢者の死亡原因の一つである誤嚥性肺炎を予防します。
※詳しくはP22に掲載しています。

新脳ドック検診【468万3千円】

脳疾患の予防のため、市民病院での脳ドック検診費用を助成し、受診促進を図ります。
※詳しくはP19に掲載しています。



市民病院 MR | 検査

認知症地域支援体制構築等推進事業【145万9千円】

認知症高齢者が安心して暮らせる地域づくりや地域での自立した日常生活を営むための支援を行います。

環境・基盤整備―

安心・安全なまちづくり

代替バス運行―デマンド交通ほか【508万9千8百円】

西土佐地域及び中村地域後川地区でデマンド交通実証運行を開始するなど公共交通の利便性の向上を図ります。



デマンド交通 ふれ愛号

新辺地共聴施設整備【671万6千円】

地上アナログ放送の終了に備えた自主共聴施設のデジタル改修に対する補助を行います。

新IP告知システム整備【567万9千9百円】

行政情報、防災情報の伝達や地区放送に活用できるIP告知システムを大川筋・富山地区へ整備します。

新津波避難路整備【171万7千2百円】

下田地区及び八束地区の津波避難路の整備を行います。